



幼稚園と保育所の交流で元気に遊ぶ子供たち

幼保一元化の 進み具合と 民営化の計画

安田 薫議員

特に御影地域には団地造成が進み、若い夫婦も多く住んでいます。事情はあるのでしようが、幼稚園に通つのは大変です。2人、3人目を生んでいただくためにも早々に手を打つべきではないでしょうか。また、入所費の違いもよく話題にされますが、園児1人当たりの年間運営費は、それぞれいくらでしょうか。

高薄町長

保育所は働く人のための施設だが、今まで御影地域は規制を緩やかにして

いる。国の制度で新たに「認定こども園」が創設され、その制度をいかして対策ができるのではないかと入所児童1人当たりの年間運営経費は、平成18年度現行予算で常設保育所が1004千円、へき地が717千円、幼稚園が74千円程度となっている。

観光立国推進基本法 が及ぼす 清水町 の方向性は

安田 薫議員

観光立国とは、人々がその地に住むことに誇りや幸せを感じ、その地を訪れる人々に魅力を感じる「住んでよし、訪れてよし」の国づくりを実現しようというもので、3点について伺います。
①本町が農業・観光等で誇れるものは。
②町民挙げて受け入れの対策を練る必要があると考えます。
③宿泊できる施設の確保はどのようにしますか。

高薄町長

①日勝峠から見下ろす十勝平野、美蔓地帯から望む日高山系等は大きな特色のひとつで、酪農を中心とした緑の多い状況、山林は本州方面の方々にもきれいだと言われている。
②北海道芸術高等学校の生徒が来町するが、実習等をもう少し広げ、迎える体制づくりを町民挙げてしなければならぬ。
③数軒の宿泊施設があるが小規模経営のため、話し合いを持ち、宿泊体制を今後検討したい。

温泉問題

安田 薫議員

現状では買い手がいないでしよう、伺います。

高薄町長

問い合わせがあるのは事実で、売却できるの強い信念で、全力を傾けていかなければならない。

まちづくり基本条例 の町民理解と 職員の意識改革

原 紀夫議員

基本条例が昨年4月1日より施行され、協働のまちづくりを目指しているが、町民及び職員に理解され浸透してきているか。

また、夕張市の財政再建団決定により町民の危機意識は以前に増して増幅しているが、職員の危機意識の現状をどのように認識しているか。町民の意見聴取は従前同様の方法では無理があると考えます。今後の方策を伺いたい。



まちづくりに参加する情報が掲示されている「今日・DOボード」

心疾患、 脳疾患患者の 専門病院への転送

原 紀夫議員

の意見をつけて公表することが一番大事で、還元することが町民参加の仕組みづくりにつながる。

死亡原因1位のがんに続き、心疾患、脳卒中となっている。我が町の緊急時の転送では、過去、専門病院転送まで時間を要し、重度の後遺症により日常生活に支障をきたしているとの苦情が出ている。これらの疾患は時間との戦いであり、より迅速な対応が求められる。早急な方策を求める。

高薄町長

本町は一次医療圏として恵まれているが、心疾患、脳疾患は専門病院へ行かなければならない。命にかかわる大きな問題で、重要な役割を果たさなければならず、保健医療の部分で